

2022年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年2月10日

上場会社名 宝ホールディングス株式会社
 コード番号 2531 URL <https://www.takara.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 木村 睦
 問合せ先責任者 (役職名) 財務・IR部長 (氏名) 宇佐美 昌和
 四半期報告書提出予定日 2022年2月14日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

TEL 075-241-5124

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第3四半期の連結業績(2021年4月1日～2021年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第3四半期	221,778		33,589	95.4	34,192	94.6	17,143	85.0
2021年3月期第3四半期	206,938	2.5	17,186	33.9	17,568	32.2	9,268	11.7

(注) 包括利益 2022年3月期第3四半期 30,754百万円 (177.5%) 2021年3月期第3四半期 11,083百万円 (73.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第3四半期	86.71	
2021年3月期第3四半期	46.88	

(注) 「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、2022年3月期第3四半期に係る売上高につきましては、当該会計基準等を適用した後の数値となっております。対前年同四半期増減率は記載しておりません。なお、その他の連結経営成績につきましては、「収益認識に関する会計基準」等を適用することによる影響はありません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年3月期第3四半期	355,038	215,493	49.0
2021年3月期	306,918	191,535	51.1

(参考) 自己資本 2022年3月期第3四半期 173,985百万円 2021年3月期 156,884百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期				21.00	21.00
2022年3月期					
2022年3月期(予想)				35.00	35.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

2022年3月期における1株当たりの配当予想については、2021年11月9日に発表した前回予想の29円から35円に修正しております。

詳細については本日(2022年2月10日)公表いたしました「2022年3月期の連結業績予想ならびに配当予想の修正(増配)に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり当期 純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	298,000		40,400	87.1	41,000	87.0	19,600	85.4	99.14

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、上記の連結業績予想は当該会計基準等を適用した後の金額となっております。売上高につきましては対前期増減率は記載しておりません。

なお、その他の連結業績予想につきましては、「収益認識に関する会計基準」等を適用することによる影響はありません。

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 有 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年3月期3Q	199,699,743 株	2021年3月期	199,699,743 株
期末自己株式数	2022年3月期3Q	1,995,645 株	2021年3月期	1,995,468 株
期中平均株式数(四半期累計)	2022年3月期3Q	197,704,210 株	2021年3月期3Q	197,704,523 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料5ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	9
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(会計方針の変更)	10
(セグメント情報)	10
(収益認識関係)	11

○第3四半期決算短信補足資料

1. 当四半期決算に関する定性的情報

収益認識に関する会計基準等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。この結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は、前第3四半期連結累計期間の売上高と異なる基準で計上されており、影響の大きい連結及び宝酒造セグメントの売上高、売上総利益および販売費及び一般管理費については前年同期比を記載せず説明しております。なお、営業利益以下に与える影響はありません。収益認識に関する会計基準等の適用による影響につきましては、「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 会計方針の変更」に記載しております。

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間の業績は、宝酒造インターナショナルグループとタカラバイオグループの好調に牽引され、売上高221,778百万円、売上総利益84,013百万円、販売費及び一般管理費50,423百万円、営業利益33,589百万円（前年同期比95.4%増）、経常利益34,192百万円（同94.6%増）となり、収益認識に関する会計基準等の影響を吸収し増収、増益となりました。また、製品自主回収関連損失1,563百万円を特別損失に計上いたしましたが、親会社株主に帰属する四半期純利益も17,143百万円（同85.0%増）と増益となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

[宝酒造]

当第3四半期連結累計期間の売上高は、収益認識に関する会計基準等の適用による影響を除いた比較でも、清酒や原料用アルコール等が減少いたしました。また、ソフトアルコール飲料につきましても、製品自主回収が影響し減少いたしました。

以上の結果、宝酒造の売上高は、収益認識に関する会計基準等適用の影響△21,990百万円を含め、94,003百万円となりました。売上原価は、70,195百万円となり、売上総利益は、23,807百万円となりました。販売費及び一般管理費は、同じく収益認識に関する会計基準等適用の影響△21,990百万円に加え経費削減に努めたため、18,670百万円となり、営業利益は、5,136百万円（前年同期比16.4%減）となりました。

[宝酒造インターナショナルグループ]

当第3四半期連結累計期間の売上高は、英国、米国でウイスキーが引き続き増加したこと、前期コロナ禍の影響を受け減少した清酒の売上が増加したことなどにより、海外酒類事業の売上高は10,365百万円（前年同期比45.5%増）となりました。海外日本食材卸事業では、海外の飲食店市場においてコロナ禍からの回復が進んだことなどにより64,148百万円（同48.2%増）となりました。

以上の結果、宝酒造インターナショナルグループの売上高は、73,372百万円（同47.4%増）となりました。売上原価は、49,973百万円（同43.3%増）となり、売上総利益は、23,399百万円（同57.1%増）となりました。販売費及び一般管理費は、人件費および運送費等が増加し、16,761百万円（同17.6%増）となり、営業利益は、6,637百万円（同941.0%増）となりました。

[タカラバイオグループ]

当第3四半期連結累計期間の売上高は、機器および遺伝子医療が前年同期比で減少したものの、試薬および受託が前年同期比で増加いたしました。特に、試薬は、回復基調にある一般研究用試薬の増加に加え、新型コロナウイルスのPCR検査関連製品が増加いたしました。

以上の結果、タカラバイオグループの売上高は、45,659百万円（前年同期比54.5%増）となりました。売上原価は、受託事業の原価率改善などに伴い、11,559百万円（同39.3%増）となり、売上総利益は、34,100百万円（同60.5%増）となりました。販売費及び一般管理費は、人件費および研究開発費等が増加し、14,174百万円（同13.8%増）となり、営業利益は、19,926百万円（同126.7%増）となりました。

[その他]

当第3四半期連結累計期間の売上高は、23,643百万円（前年同期比4.2%増）となりました。売上原価は、20,362百万円（同3.1%増）となり、売上総利益は、3,280百万円（同11.4%増）となりました。販売費及び一般管理費は、人件費などが減少し、1,387百万円（同2.6%減）となり、営業利益は1,893百万円（同24.5%増）となりました。

品種別販売実績

セグメントの名称	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	対前年 増減率
品種	金額 (百万円)	金額 (百万円)	(%)
宝酒造			
焼酎	38,188	30,116	△21.1
清酒	14,362	10,452	△27.2
ソフトアルコール飲料	36,356	29,019	△20.2
その他酒類	4,330	4,206	△2.9
本みりん	10,706	7,320	△31.6
その他調味料	8,232	6,685	△18.8
原料用アルコール等	7,581	6,200	△18.2
計	119,757	94,003	△21.5
宝酒造インターナショナルグループ			
海外酒類	7,123	10,365	45.5
海外日本食材卸	43,286	64,148	48.2
その他	45	42	△5.1
グループ内連結消去	△686	△1,184	—
計	49,768	73,372	47.4
タカラバイオグループ			
試薬	22,615	36,998	63.6
機器	1,113	1,040	△6.6
受託	5,575	7,474	34.0
遺伝子医療	243	146	△39.7
計	29,549	45,659	54.5
報告セグメント計	199,075	213,034	7.0
その他	22,689	23,643	4.2
セグメント計	221,764	236,678	6.7
事業セグメントに配分していない 収益およびセグメント間取引消去	△14,826	△14,899	—
合計	206,938	221,778	7.2

(注) 1. 販売金額には酒税を含んでおります。

2. 第1四半期連結会計期間よりタカラバイオグループの品種名称を「研究用試薬」、「理化学機器」、「受託サービス」から「試薬」、「機器」、「受託」にそれぞれ変更しております。

(参考) 【収益認識基準適用前】 品種別販売実績

セグメントの名称	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	対前年 増減率
品種	金額 (百万円)	金額 (百万円)	(%)
宝酒造			
焼酎	38,188	37,430	△2.0
清酒	14,362	12,942	△9.9
ソフトアルコール飲料	36,356	35,568	△2.2
その他酒類	4,330	4,703	8.6
本みりん	10,706	10,799	0.9
その他調味料	8,232	8,340	1.3
原料用アルコール等	7,581	6,209	△18.1
計	119,757	115,994	△3.1
宝酒造インターナショナルグループ			
海外酒類	7,123	10,385	45.8
海外日本食材卸	43,286	64,148	48.2
その他	45	42	△5.1
グループ内連結消去	△686	△1,184	—
計	49,768	73,392	47.5
タカラバイオグループ			
試薬	22,615	36,998	63.6
機器	1,113	1,040	△6.6
受託	5,575	7,474	34.0
遺伝子医療	243	146	△39.7
計	29,549	45,659	54.5
報告セグメント計	199,075	235,045	18.1
その他	22,689	23,643	4.2
セグメント計	221,764	258,689	16.7
事業セグメントに配分していない 収益およびセグメント間取引消去	△14,826	△14,899	—
合計	206,938	243,790	17.8

(注) 比較の便宜のため、当第3四半期連結累計期間の売上高は収益認識に関する会計基準等を適用しなかった場合の金額を記載しております。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は225,807百万円となり、前連結会計年度末に比べ42,699百万円増加いたしました。これは主に現金及び預金が19,507百万円、受取手形及び売掛金が16,588百万円、棚卸資産が4,282百万円それぞれ増加したことによるものであります。固定資産は129,231百万円となり、前連結会計年度末に比べ5,420百万円増加いたしました。これは主にTakara Bio USA, Inc.の新事業所用建物の内装工事およびタカラバイオ株式会社の製造設備取得などにより有形固定資産が4,764百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は、355,038百万円となり、前連結会計年度末に比べ48,120百万円増加いたしました。

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は80,854百万円となり、前連結会計年度末に比べ24,585百万円増加いたしました。これは主に流動負債のその他が収益認識に関する会計基準等の適用に伴う返金負債7,236百万円などにより9,715百万円増加し、1年内償還予定の社債が10,000百万円、未払酒税が4,942百万円、支払手形及び買掛金が3,167百万円それぞれ増加したことによるものであります。固定負債は前連結会計年度末に比べ422百万円減少し、58,691百万円となりました。

この結果、負債合計は、139,545百万円となり、前連結会計年度末に比べ24,162百万円増加いたしました。

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は215,493百万円となり、前連結会計年度末に比べ23,957百万円増加いたしました。これは主に利益剰余金が11,123百万円、タカラバイオグループなどの好業績により非支配株

主持分が6,856百万円、円安の影響により為替換算調整勘定が5,090百万円それぞれ増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は49.0%（前連結会計年度末は51.1%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、最近の業績の動向等を踏まえ、2021年11月9日に公表いたしました業績予想および配当予想を修正しております。

通期の売上高につきましては、前回予想（2021年11月9日発表）に対して、宝酒造がほぼ予想通りとなり、宝酒造インターナショナルグループでは料飲店市場が好調に推移し、タカラバイオグループでは新型コロナウイルスPCR検査関連製品および一般研究用試薬が前回予想を上回ることで、グループ全体でも増収となり、過去最高となる見通しです。

利益面では、売上高の増加や売上原価率の低下による売上総利益の増加により、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益は、前回予想を上回り、過去最高となる見通しです。

また、各事業セグメントの予想値の詳細につきましては、「決算短信補足資料」（PAGE 12/20～15/20）をご参照ください。

(通期連結業績予想)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想 (A) (2021年11月9日発表)	百万円 289,000	百万円 33,400	百万円 33,800	百万円 16,100	円 銭 81.43
今回修正予想 (B)	298,000	40,400	41,000	19,600	99.14
増減額 (B - A)	9,000	7,000	7,200	3,500	—
増減率 (%)	3.1	21.0	21.3	21.7	—
ご参考：前期実績 (2021年3月期)	278,443	21,595	21,929	10,574	53.48

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	66,238	85,745
受取手形及び売掛金	61,954	78,543
有価証券	1,145	1,442
商品及び製品	41,115	44,175
仕掛品	1,924	2,500
原材料及び貯蔵品	6,084	6,731
その他	5,161	7,126
貸倒引当金	△516	△456
流動資産合計	183,108	225,807
固定資産		
有形固定資産	74,740	79,505
無形固定資産		
のれん	10,142	10,103
その他	5,746	5,417
無形固定資産合計	15,889	15,520
投資その他の資産		
投資有価証券	27,924	28,866
その他	5,324	5,403
貸倒引当金	△69	△64
投資その他の資産合計	33,180	34,204
固定資産合計	123,810	129,231
資産合計	306,918	355,038
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	16,481	19,648
短期借入金	5,166	5,020
1年内償還予定の社債	—	10,000
未払酒税	6,890	11,832
未払費用	6,455	4,828
未払法人税等	4,021	4,939
引当金	4,914	2,528
その他	12,340	22,055
流動負債合計	56,269	80,854
固定負債		
社債	20,000	20,000
長期借入金	15,465	15,250
リース債務	3,122	3,036
退職給付に係る負債	9,274	9,232
長期預り金	5,136	5,091
その他	6,114	6,079
固定負債合計	59,113	58,691
負債合計	115,383	139,545

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	13,226	13,226
資本剰余金	2,292	2,348
利益剰余金	135,184	146,307
自己株式	△1,682	△1,682
株主資本合計	149,020	160,199
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	11,370	11,999
繰延ヘッジ損益	193	273
為替換算調整勘定	△2,840	2,250
退職給付に係る調整累計額	△859	△736
その他の包括利益累計額合計	7,863	13,785
非支配株主持分	34,650	41,507
純資産合計	191,535	215,493
負債純資産合計	306,918	355,038

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
売上高	206,938	221,778
売上原価	120,738	137,765
売上総利益	86,199	84,013
販売費及び一般管理費	69,012	50,423
営業利益	17,186	33,589
営業外収益		
受取配当金	513	573
その他	497	587
営業外収益合計	1,011	1,161
営業外費用		
支払利息	263	243
その他	366	315
営業外費用合計	630	558
経常利益	17,568	34,192
特別利益		
国庫補助金	35	3,205
その他	8	182
特別利益合計	43	3,388
特別損失		
固定資産圧縮損	35	3,205
製品自主回収関連損失	—	1,563
事業整理損	462	—
その他	301	152
特別損失合計	798	4,921
税金等調整前四半期純利益	16,813	32,658
法人税、住民税及び事業税	5,074	9,309
法人税等調整額	347	△50
法人税等合計	5,422	9,258
四半期純利益	11,390	23,400
非支配株主に帰属する四半期純利益	2,122	6,257
親会社株主に帰属する四半期純利益	9,268	17,143

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
四半期純利益	11,390	23,400
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,070	628
繰延ヘッジ損益	△121	80
為替換算調整勘定	△2,275	6,508
退職給付に係る調整額	18	136
その他の包括利益合計	△307	7,353
四半期包括利益	11,083	30,754
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	9,495	23,065
非支配株主に係る四半期包括利益	1,587	7,689

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしております。これにより、顧客に支払われる対価について、従来は販売費及び一般管理費として処理する方法によっておりましたが、売上高から控除する方法に変更しております。また、決算日後に顧客に支払われる対価として見込まれる金額を従来は「流動負債」の「未払費用」の一部および「引当金」の一部として表示しておりましたが、返金負債として「流動負債」の「その他」に含めて表示しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過措置に従っており、第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高、販売費及び一般管理費はそれぞれ22,011百万円減少しております。なお、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響はありません。また、利益剰余金の当期首残高は1,867百万円減少しており、当第3四半期連結会計期間末における流動負債の「その他」に含まれる返金負債の金額は7,236百万円であります。

なお、「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号 2020年3月31日)第28-15項に定める経過措置に従って、前第3四半期連結累計期間に係る顧客から生じる収益を分解した情報を記載しておりません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過措置に従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することといたしました。なお、当第3四半期連結累計期間の連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自2020年4月1日 至2020年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	宝酒造	宝酒造イ ンターナ ショナル グループ	タカラバ イオグル ープ	計				
売上高								
外部顧客への売上高	119,349	49,589	29,548	198,487	8,450	206,938	0	206,938
セグメント間の内部 売上高又は振替高	408	179	0	587	14,239	14,826	△14,826	—
計	119,757	49,768	29,549	199,075	22,689	221,764	△14,826	206,938
セグメント利益	6,145	637	8,791	15,574	1,520	17,094	91	17,186

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業及び物流事業等であります。

2. 調整額の内容は以下のとおりであります。

(1) 外部顧客への売上高は、当社において計上した業務受託収入であります。

(2) セグメント利益の調整額91百万円は、セグメント間取引消去43百万円、事業セグメントに配分していない当社の損益48百万円であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「タカラバイオグループ」セグメントにおいて、次世代シーケンスライブラリー作製装置関連事業の整理に伴い、減損損失363百万円を計上しております。なお、当該減損損失は、関連する損失と合わせて特別損失の「事業整理損」として計上しております。

II 当第3四半期連結累計期間（自2021年4月1日 至2021年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	宝酒造	宝酒造インター ナショナル グループ	タカラバイ オグル ープ	計				
売上高								
外部顧客への売上高	93,380	73,180	45,659	212,219	9,559	221,778	—	221,778
セグメント間の内部 売上高又は振替高	622	192	0	814	14,084	14,899	△14,899	—
計	94,003	73,372	45,659	213,034	23,643	236,678	△14,899	221,778
セグメント利益	5,136	6,637	19,926	31,700	1,893	33,593	△3	33,589

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業及び物流事業等であります。

2. セグメント利益の調整額△3百万円は、セグメント間取引消去29百万円、事業セグメントに配分していない当社の損益△33百万円であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

(会計方針の変更)に記載のとおり、「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、収益認識に関する会計処理方法を変更したため、事業セグメントの利益又は損失の測定方法を同様に變更しております。

当該変更により、従来の方法に比べて、当第3四半期連結累計期間の宝酒造の売上高は21,990百万円減少し、宝酒造インターナショナルグループの売上高は20百万円減少しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

当第3四半期連結累計期間（自2021年4月1日 至2021年12月31日）

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	宝酒造	宝酒造インター ナショナル グループ	タカラバイ オグル ープ	計		
酒類	93,380	9,033	—	102,414	3,659	106,074
海外日本食材卸	—	64,146	—	64,146	—	64,146
バイオ	—	—	45,659	45,659	—	45,659
その他	—	—	—	—	5,445	5,445
顧客との契約から生じる 収益	93,380	73,180	45,659	212,219	9,104	221,324
その他の収益	—	—	—	—	454	454
外部顧客への売上高	93,380	73,180	45,659	212,219	9,559	221,778

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ワインの輸入販売、不動産賃貸事業及び物流事業等であります。